

平成29年11月20日
義務教育課
教育総合研究所

SASA2017（福井県学力調査）の実施について

昭和26年度から、本県独自に小・中学生の学習状況等を調査している「SASA2017（第66次福井県学力調査）」を、下記のとおり実施する。

記

1 調査の目的

県内の児童生徒の学習状況および学習と生活に関する意識や実態を把握するとともに、結果を分析することにより、学習指導上の課題を明らかにし、学力向上に資する。

2 調査の概要

- ・教科に関する基礎的な知識・技能や活用する力を測る問題（A・B問題）のほか、実社会で直接生かせるような総合的な学力を測る問題（Cチャレンジ問題）で構成
- ・過去の「福井県学力調査」や「全国学力・学習状況調査」において課題となった内容のほか、読解力や記述力が必要な内容、応用力を必要とする問題を出題
 - 例 対立する二つの意見に着目し、論点を整理して記述する問題
 - 二つの数量の関係を図に置き換えて考察する問題
 - 複数の資料を比較・分類して価値を判断し、課題や解決方法について考え、論理的に説明する問題
 - 条件制御の考え方を活かして、実験を計画する問題
- ・併せて、児童生徒の生活や学習に関する意識や実態のほか、学級の状態に関する質問紙調査を実施し、生活・学習状況、学級の状態と学力の相関を分析
- ・自校採点や調査結果の活用等に関する学校質問紙調査を実施
- ・調査結果は、児童生徒の学習課題の克服、教員の指導方法の改善に活用

3 対象学年

小学校第5学年（7, 161名）、中学校第2学年（7, 062名）

4 調査の内容

小学5年 学習状況調査（国語、社会、算数、理科の4教科）
児童質問紙調査、学校質問紙
中学2年 学習状況調査（国語、社会、数学、理科、英語の5教科）
生徒質問紙調査、学校質問紙

5 調査の実施期間

平成29年12月12日（火）：学習状況調査（国語、社会、英語）
13日（水）：学習状況調査（算数・数学、理科）、質問紙調査

6 調査結果の活用

- ・県教育総合研究所が調査結果を集計・分析し、学校等に報告するほか、学校の要請に応じて、SASAの結果を踏まえた「訪問研修」を実施
- ・結果の概要及び速報資料は1月下旬はHPにアップ
- ・学校はSASAの結果を分析し、2月以降の授業改善に活用

※SASA……Student Academic Skills Assessment の略